Rainbow letter

日本周産期メンタルヘルス学会・ニュースレター

2016.1
Vol. 1

＜第 12 回日本周産期メンタルヘルス学会学術集会開催報告＞

平成 27 年 10 月 30 日と 11 月 1 日の 2 日間、自治医科大学地域医療情報研修センターにおいて第 12 回日本周産期メンタルヘルス学会学術集会が開催されました。参加者は 280 名を超え、会場内では活発な討議が行われ、「研究会」から「学会」へ移行した、最初の学術集会にふさわしい有意義な学術集会となりました。

特別講演では、岡野禎治理事長から「周産期精神医学の過去・現在・未来」と題し、産褥期の精神疾患の歴史的背景から現在に至るまでの経緯をご講演いただきました。松原茂樹先生による論文作成に関する会長講演や木下勝之先生による Resilience についての特別講演、伊藤直樹先生による向精神薬の授乳移行についての教育講演が行われ、各シンポジウムにおいても多職種連携、妊娠、産褥期のうつ病、出生前診断、新生児虐待の発生メカニズムと養育支援について発表と討議が行われ、例年にも増して充実したプログラムでした。

研究会発足時からのお力添えを頂いている顧問の先生方も多くご参加下さり、また自治医科大学産科婦人科学講座の温かいスタッフの皆様のおかげで、学術集会は盛況のうちに終了しましたことをご報告いたします。

大会長 松原茂樹先生の学術集会報告は、平成 28 年 9 月に発行予定の会誌に掲載いたします。会誌発行までしばらくお待ちください。

＜次回学術集会開催予定＞

第 13 回日本周産期メンタルヘルス学会学術集会
日時：平成 28 年 11 月 19 日(土)・20 日(日)
場所：KFC ホール(東京都墨田区)
大会長：鈴木利人(順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学分野教授)
テーマ：周産期メンタルヘルスリテラシーの向上を目指して

ヘルスリテラシーとは、健康に関するさまざまな情報を自ら入手し、それを適切に理解しまた評価して活用出来るようにする能力を指します。国内の周産期メンタルヘルスに関する国民の意識や理解は現状では決して高いとは言えず、その向上には周産期メンタルヘルスに関するヘルスリテラシーを高めることが大切です。そこで本学術集会では周産期メンタルヘルスに関する教育そして啓蒙を目的とした企画を検討しています。

詳細は決まり次第、メール配信と HP 掲載にてお知らせいたします。

＜イベント情報＞

第 36 回 日本精神科診断学会学術集会

精神疾患の診断基準作成の動きが世界のあちこちで起こった 1970 年代、研究者たちは「われわれが精神疾患と考えている現象にそれぞれ共通言語となる基準を作ろう」としていました。あれから 40 年、「DSM や ICD に掲載されているから精神疾患だ」「DSM や ICD に無いものは精神疾患ではない」という風潮が主流になってしまいました。日常使っている個別疾患の概念や評価方法の批判的吟味こそ、精神科診断学です。

ところで、精神疾患は個体の内部に存在するものなのでしょうか。例えば選択的緘黙を見てみましょう。これは個体の喉や声帯の異常ではありません。特定の状況と特定の人間の前のみで発生するものです。つまり、精神疾患は、いわば人と人の間に存在するのです。対人関係こそが疾患の首座であるともいえます。

第 36 回集会では、精神科診断学の伝統に立ち返ることで、学問の未来の道筋を見る機会にしたいと思います。今回は特に周産期精神医学にスポットを当てます。シンポジウムは４つ準備しております。いずれもシンポジストに自前データで語ってもらいます。

テーマ：個の評価から関係性の評価へのパラダイムシフト～周産期精神医学における症状学と診断学
会期：2016 年８月５日（金）・６日（土）
会場：順天堂大学（御茶ノ水）センチュリータワー
大会長：北村俊則（北村メンタルヘルス研究所所長・こころの診療科 きたむら醫院院長・北村メンタルヘルス学術振興財団代表理事）
大会副会長：鈴木利人（順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学分野教授）、高橋真理（順天堂大学大学院医療看護学研究科教授）

プログラム詳細、一般演題募集、参加申し込み方法、託児サービスの申し込みなどは、第 36 回日本精神科診断学会 HP（http://www.procomu.jp/jspd2016/)をご確認ください。

＜ニュースレターをリニューアルしました＞

学会移行を機に、装いを新たにした新・ニュースレターを発刊する運びとなりました。“Rainbow letter”には、このレターが全国の会員の皆様へ心の支援の虹の架け橋となりますように、との願いを込めました。また、Rainbow には、多様性、多職種協働という意味があります。7 色の美しい虹のようにそれぞれの職種が協働しながら心の支援に取り組んでいく･･･このレターがそんな皆様の一助となりますよう願っています。

（(ニュースレター投稿記事を募集しています！)）

情報関連委員会では、会員の皆様にとって有用な情報を、広くお知らせしていきます。当学会の活動だけでなく、他学会・研究会等に関する情報も含まれます。情報をお持ちの方は学会事務局（E-mail :mental-3@hac.mie-u.ac.jp）まで、ぜひご連絡ください。

＊企画・発行：日本周産期メンタルヘルス学会　事務局・情報関連委員会